

○ 窒素肥料の効率的利用による環境負荷軽減に向けた国際研究プログラム

【令和6年度予算概算決定額 37（46）百万円】

<対策のポイント>

国際農業研究機関への資金拠出により、**BNI強化作物の開発**や**同作物を活用した栽培体系の確立**を推進し、我が国の研究機関と国際研究機関が一体となって、**窒素肥料の利用の効率化**や**環境負荷の軽減**を推進します。

<事業目標>

- GHG排出を3割削減する放牧管理システム1件及び炭素クレジット獲得のためのプロトコル1件の開発 [令和9年度まで]
- 土壌特性の異なる地域向けの新たなBNI強化コムギを5系統以上作出 [令和10年度まで]



<事業の内容>

1. 不良環境地での「牧畜業の脱炭素経営」を可能にする技術の開発 20百万円

- BNI牧草とICTを組み合わせ、不良環境地での牧畜業の**生産性・持続性**の向上とGHG排出削減を両立する放牧管理システムを構築します。

(拠出先 : 国際熱帯農業センター (CIAT))



新たなBNI強化コムギ

BNI牧草を活用した放牧管理システム

2. 新たなBNI強化コムギの開発 17百万円

- 土壌特性の異なる地域で栽培可能な**新たなBNI強化コムギ**を作出します。

(拠出先 : 国際とうもろこし・小麦改良センター (CIMMYT))

我が国の研究機関と一体になった取組の情報発信



- 国際連携により、多様なBNI強化作物の開発・活用を促進
- 肥料の利用効率化と環境負荷の軽減
- 世界の農業の持続的な生産性向上への貢献

<事業の流れ>

拠出金

国

国際熱帯農業センター (CIAT)
国際とうもろこし・小麦改良センター (CIMMYT)

日本 (100%)

[お問い合わせ先] (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 農林水産技術会議事務局国際研究官室 (03-3502-7466)